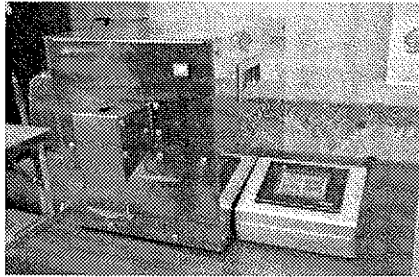


## マイス 今春、部品定数供給装置

【横浜】マイス(川崎市高津区、酒井高雄社長、044・813・7530)は、日産自動車の特許を活用した「部品定数供給装置Ⅱ写真」を4月に発売する。自動車などの生産ラインでボルトやナットを必要な時に必要な分だけ自動的に作



業者に供給する装置。価格は約30万円の予定。自動車メーカーやトラック・バス、建築機械、農業機械メーカーを中心に5

年間で1000台の販売を見込む。

日産自動車が混流生産で培ってきた技術を基に開発した。ボルトの数を任意に変更できる。作業者がボルトを計る手間を省き、作業の効率化とボルトの締め忘れを防止する。磁石を埋め込んだ回転盤にボルトを吸着させて正確な数を供給するシンプルな構造を採用した。

川崎市の「知的財産交流会」の成果で、マイス初の自社製品。日産自動車の特許を活用した市内中小企業の製品開発も初めて。